

SAKURA

Since 2013



Vol.72
5・6月号
2025.5.1発行

10周年からその先へ ずっと続く文化芸術



世代を超えた感動を

== INDEX ==

Pick Up Artist

らららん♪ドレミシリーズ Vol.28

お話と音楽とバレエでたのしむ サン=サーンス「動物の謝肉祭」
知ると2倍おもしろい!? 曲目解説とバレエのマイムレクチャー付き

鈴木 啓資 (ピアノ)、**鈴木 佳由** (ナレーター)、
大山 理紗 (バレエ 監修・振付) 他

さくらプラザ 自主事業レポート

さくらプラザ春の芸術祭 2025

連載

アメリカの文化芸術をもっと楽しみ、
ちょっと詳しくなっちゃおう
vol.6 / 小田 直弥さん

リレーインタビュー
横浜横断! 地域連携コーディネーターに
今を聞いてみた

人は皆 背中で語る…見返戸塚人



Web版





ピアノ 俳優 バレエ

鈴木啓資 鈴木佳由 大山理紗・大山詩織

—感動に年齢は関係ない。—



さくらプラザの子ども向け企画「らららん♪ドレミ」シリーズ第28回目は、0歳から大人まで楽しめるお話と音楽とバレエをお届けいたします。サン=サーンス作曲「動物の謝肉祭」をピアノ連弾で演奏し、全音楽出版社の「ピアノ絵本館 サン=サーンス：動物の謝肉祭 [れんだん]」のために書かれたオリジナルのお話と、今回の公演のためのバレエの振付けでお楽しみいただけます。ピアニスト、朗読、バレエ、それぞれの出演者へ公演に向けてお話を伺いました。

鈴木啓資さん
—初めてさくらプラザでご出演
いただいた時も「動物の謝肉祭」を演奏していただきましたね。



はい、初めて参加させていただいた演奏でしたのでよく覚えております。そのときからのご縁であることを思い出すと、感慨深いものがありますね。その時には弦楽器+ピアノ連弾という編成だったかと思いますが、ピアノを演奏したり、指揮体験コーナーの指揮を担当させていただいたりしたことを懐かしく思います。

—オーケストラや室内楽での「動物の謝肉祭」と、今回のピアノ連弾での演奏は楽しみ方が変わりますか？

楽曲自体は変わらないのですが、様々な楽器が使用されるオーケストラや室内楽による演奏と、ピアノ1台による演奏では、受ける印象が大きく異なると思います。

カラーの世界がオーケストラや室内楽とすると、ピアノ1台の演奏はモノクロと言えよいでしょうか。オーケストラや室内楽は用いられる楽器の種類が多い分、音色の種類が多く、色彩感を感じる事が容易であるように思います。その一方で、楽器の特性（例えば音量が小さいなど）により、聴こえにくい部分も出てしまうのではないのでしょうか。ピアノ1台の演奏は、あくまでもピアノという1つの楽器の音で奏でますので、オーケストラや室内楽ほど色彩感を感じにくいかもしれませんが、細かい音まで聴きやすいのではないかと考えています。

また、「動物の謝肉祭」を知らない方には、どのような動物が出てきているのかということをご想像しながら聴いていただきたいですね。ピアノの音色だけで表現することはなかなか難しいところもありますが、逆に考えると聴衆の皆さんの想像力次第で様々な受け止め方ができるのではないかと考えています。

—クラシックバレエとの共演はいかがですか？

今までバレエとの共演はありませんので、とても楽しみです。最終的な仕上がりがどのようなものか想像ができませんが、アンサンブル同様にお互いに相手の呼吸を感じながら、そしてお互いを理解、尊重しながら作り上げていくことが大切だと思います。留学中や海外に行った際には観ていましたが、日本ではあまり観なくなってしまうかもしれません。様々な演目を鑑賞したと思いますが、「くるみ割り人形」、「白鳥の湖」、「 Coppélia」などは人気演目でチケットの入手が難しかった記憶があります。言葉がなく、踊りと音楽で表現する芸術ですから、言葉がわからなくても理解できるという点が魅力の1つではないのでしょうか。

—鈴木佳由さんとの再共演について、当時との心境の変化などございますか。

2022年にご一緒した際には、私は指揮者として舞台上に立たせていただきました。もちろん指揮者には大切な役割がありますが、音を出すことができない唯一の音楽家です。その意味では、

今回はピアニストとしての共演ですので、鈴木佳由さんのお話に自分の音でかかわっていくことができることをとても嬉しく思います。初共演と2回目の共演では、相手のことをわかっているという安心感もありますので、よりよい公演を作り上げることができるのではないかと感じています。

—本公演を観ていただく子どもたちにメッセージをお願いします。

とにかく、なんらかの「楽しさ」を感じてほしいと思います。今回の公演はピアノ連弾による演奏ですが、それ以外にもお話やバレエも楽しめます。もちろんピアノ演奏を楽しんでいただけることはピアニストとしては嬉しく思いますが、「お話が楽しかった」、「バレエに迫力があつた」など、音楽以外のところにも魅力や楽しさを感じていただける公演なので些細なことでもよいので楽しかったと思っていただけるように作り上げたいと思います。あとはやはり音楽から登場する動物の様子を想像していただきたいですね。

さくらプラザは何回も演奏させていただいているホールですが、毎回新しい発見や楽しみがあるので、演奏させていただくのが楽しみです。しかも今回は、お話×音楽×バレエという組み合わせで、私にとって初めての試みですので、どのようにするのか心配なような楽しみなような……という気持ちです。

皆さんに音楽で動物の情景をお伝えできるように全力で演奏したいと思います。



鈴木佳由さん
—啓資さんとは約3年ぶりの共演ですね。

啓資さんとの共演は前回の「ピーターと狼」が初めてで、実はその時は緊張していたんです(笑)。演劇の世界だとリハーサルは何度も行うけれど、音楽の方たちのリハーサルはそれに比べると少ない回数で本番を迎えるじゃないですか！なので、ああ〜、私大丈夫かしら〜、なんて思って緊張していたんです(笑)。でも始めてみたら、あれ、大丈夫だ……！って安心感しかなかったんです。啓資さんが指揮で引っ張ってくれて、リハーサルから本番までリラックスした気持ちで舞台上に立っていました。啓資さんの人をまとめる力というか、お人柄に感動していました。また啓資さんとお話と音楽の公演ができるなんて、幸せです。しかも！今回はバレエもあって、楽しみが倍増しました。バレエは私の長女が好きで、クリスマスに「くるみ割り人形」を一緒に観に行ったりしていました。バレエのクラシックな雰囲気って、いいですよね。本当に素敵で大好きです。その世界に演者として入らせていただけるなんて、光栄です。お話と音楽だけでも想像力を掻き立てられるのに、そこにバレエという新しい要素が加わって、子どもたちの想像力はどこまで飛んでいくんだろうと思っています。1人ずつ感想を聞いてみたいくらい。

—今回の公演は「動物の謝肉祭」と聞いて、いかがでしたか？「動物の謝肉祭」は「白鳥」が有名ですね。好きな曲です。他

にもたくさんかわいらしい曲が集まっている組曲ということを知っています。全曲を生演奏で聴いたことはなかったので、それも含めてわくわくしています。ピアノ連弾でオーケストラの曲を演奏するんですね！？ピアノ1台でオーケストラの音を表現するピアニストたちは本当に素晴らしいと思います。早く聴いてみたいなあ。

今回の動物の謝肉祭のお話はキャラクターが出てきてその役になりきって演じて読む、というより、絵本の世界に誘う役割というか、舞台の世界と客席の現実の世界を繋げる人になると思っています。会場にいるお客様に投げかけるような、実際に会話をするわけではないけれど、朗読を通してコミュニケーションを取っていただければいいなと思っています。

—「朗読をする」というのは「演技」と同じ感覚なのでしょう？
舞台上演じる時は1人ではなく必ず誰か相手役がいて、だれかとの関係性があって演技をしますが、朗読は1人でそれをする、という考え方を私はしています。朗読をするお話の中に登場人物たちの関係性というものがあるわけで、自分が何と関係しているのか？ということ考えながら読んでいます。準備することは全く違うんですけど、台詞を読むということに関しては演技することと共通かなと思っています。あとはその場の空気感やお客様の雰囲気などを感じ取って台詞を発することは演劇でも朗読でも生でお届けする時は同じです。

—公演に向けて、戸塚の皆様にもメッセージをお願いします。

私は、世界を平和にする力がアートにはある、と信じています。劇場で生の芸術に触れて感動すると、いい気分でお家に帰るじゃないですか。いい気分って、伝染しますよね？その人の周りの空気が軽やかとか、「あ、あの人がいいことあったのかな？」みたいに。見ているこちらもいい気持ちになれるんです。地球上にいる人がみんなそんなふうにならなったら、結果、世界が平和になると思いませんか？生の芸術を届ける劇場の役割は大きいと思うんです。そのために表現者として舞台上に立っているんだと、最近強く思うようになりました。

今回は0歳から鑑賞できる公演です。感動に年齢は関係ないと思っています。記憶としてはこの公演を見に行ったということは覚えてはないと思うけど、その時に感じたことは感覚としてその子の細胞に刻まれているはずなんです。きっと子どもたちも「なんか楽しかったな」「あの曲が好き」「踊ってるのが楽しそうだった」など、いろんなことを感じてくれて、鑑賞後に気持ちよくなってくれると思います。

私たち舞台上にいる人間も、拍手や笑顔などのお返しをいただけることで心が平和になりますし、そんなふうにならなると素敵なお返しをいただけるように朗読をしたいと思っています。心にカラフルな塗り絵をする時間になったらいいな。自由な心で楽しんでもらえたら嬉しいです。



大山理紗さん 大山詩織さん
—バレエ教室 Risa Ballet Academy について教えてください。
大山理紗 (以下、**理紗**)—2011年8月に開校したクラシックバレエ教室です。東日本大震災の影響で、当時私が勤めていたバレエ教室が閉校することになってしまいました。そこで指導していた生徒さんや保護者の方々が私に「新たに教室を立ち上げてくれないか」と署名運動をしてくださったことがきっかけです。

思いもよらないことで子どもたちの将来への責任の重さや自身の今後の未来も大きく変化する覚悟も必要で悩みましたが、熱望してくださった気持ちに感動し、一念発起し、独立して開校することにしました。

幼い頃より姉妹でいつかはバレエ教室を開けたらいいなと私自身どこかで夢として持っていたこともあり、妹に相談し私の熱意に賛同してくれました。当時の生徒さんのおかげで私の夢が叶いました。震災の影響での利便性を考えた時に交通の便や通いやすく親御さんが安心して送り出せる場所をということで、閉校した教室のあった泉区の隣の戸塚に新たに足を踏み入れることにしました。当時は皆さん大変な状況で各々の今後のことを考えていかなければいけない中、習い事にそこまで一生懸命になってくださることに驚きましたし、いただいたご縁というものを大切にしたいと強く感じました。そこで繋ぎとめてくださった方々と一緒に Risa Ballet Academy を作り上げて、育ててくれたと思います。本当に感謝しています。

その当時幼かった子が大学生になったり、プロのバレリーナになったりしていく姿を見守ることができ幸せですね。

—「動物の謝肉祭」にご出演いただくことになり、いかがですか？
大山詩織 —(以下、**詩織**)—まず、教室のある戸塚で公演ができるのはなかなかない機会なので、すごく楽しみです。自分たちが普段知っているテリトリー以外で活動をさせてもらえるというのはパワーをもらえますし、それこそバレエにまだ距離がある方にも知ってもらえて、身近に感じていただける嬉しい機会です。
理紗 —生演奏というのも良いなと思って、こちらも緊張もありますけど楽しみでもありますし、子どもたちを育てる立場としても物語をテーマとしているのが良い企画ですね。生でピアノの演奏やお話を聴いて、バレエを見て、そこからイメージすることで子どもたちに想像を膨らませてもらいたいです。

—バレエの魅力は何だと思えますか？

理紗 —総合芸術であることに尽きます。セリフがない部分を物語として伝えるために、演奏して下さる方や美術さん、振付師、踊り手など色々な人の才能があつて出来上がって……それも正解がなく、様々な形があつていいところが私は好きです。小さいころから一つのストーリーをみんなで作り上げる体験をすることでお互いの個性やパーソナリティを大切に尊重するという情操教育にも繋がりますし、見る立場としてもたくさんさんの舞台を見て、感じられることが素敵だなと思います。

—さくらプラザの公演に向けて意気込みをお願いします。

理紗 —生演奏とお話にあわせたなかなかない機会なので子どもたちに新しい世界を見つけてもらいたいです。親子や家族でたのしんでいただく機会になればもっと芸術の輪が広がるのではないかと思いますし、リフレッシュや癒しの時間になり、少しでも皆さんの笑顔が見えると嬉しいです。
詩織 —鑑賞後に、軽く口ずさむとか、ステップを踏んでみるとか、楽しく絵本の世界と一緒にいられたら嬉しいです。

取材・構成／山上 由布子、石田 佑季

らららん♪ドレミ シリーズ Vol.28 **好評発売中**

親子でたのしむサン=サーンス「動物の謝肉祭」
〜知ると2倍おもしろい!? 曲目解説とバレエのマイムレクチャー付〜

2025年5月17日(土)
11:00開演(10:30開場)
公演時間約70分 ※休憩あり



↑公演 HP



使用台本
全音楽出版社刊 宮本 良樹 著
「ピアノ絵本館 サン=サーンス：動物の謝肉祭 [れんだん]」



春の芸術祭 2025

さくらプラザ利用団体・アーティスト・区民…アートに満ちる3日間

2025年2月20日(木)～22日(土)開催

今年で9回目の開催となった横浜市民、戸塚区民を巻き込んでの全館イベントは、事前ワークショップや当日参加イベントなど関連企画や新たな試みも盛りだくさん！3日間で延べ2,120人の方が来館くださいました。ご来場いただいた皆様、そして出演・出展いただいた皆様、本当にありがとうございました。当日の様子を一挙にご紹介いたします！

2/20(木)～2/22(土)

さくらプラザ春の芸術祭2025関連事業



「カードを重ねて3Dアートシャドーアートを作って飾ろう！」
ワークショップ参加者作品展示

伝統的な工芸であるシャドーボックスに工夫をしてリアルな立体感を作る独自のクラフトのシャドーアート。事前ワークショップと同じ絵柄のカードなどを部分的に切って立体的に組み立てて製作した作品を展示しました。講師作品とともに皆さんにお楽しみいただきました。

2/20(木)～2/22(土)

ギャラリー



ギャラリーでは8団体に参加いただき、水彩画、バリアフリー図書としての布絵本、絵画、造形作品、似顔絵、写真、クラフト作品など個性あふれる様々なジャンルの作品が展示されました。展示だけではなく似顔絵や、水彩色鉛筆などのワークショップも開催され、参加された皆様の楽しむ姿も見られました。

2/22(土)

ホール



2/20(木)

さくらプラザ春の芸術祭2025関連事業



アートマネジメント講座Vol.20/大人のためのワークショップ
ホールの舞台裏を覗いてみよう！バックステージツアー

さくらプラザスタッフと一緒に、普段見ることのできない舞台の裏側を見学しました。公演をつくるには欠かせない舞台・照明・音響についての解説やピンスポットライト体験など……とても貴重な機会になったと感想をいただきました！



名曲サロンシリーズVol.41
林真映メゾソプラノコンサート

名曲サロンシリーズのホール特別公演として、国内外で活躍する林真映さん(メゾソプラノ)、陣内和歌子さん(ピアノ)、ゲストの小野桃子さん(ヴィオラ)によるメゾソプラノコンサートを開催。ほぼ満員の会場で豊かな歌声と美しい音色のアンサンブルをお楽しみいただきました。

2/22(土)

さくらプラザマルシェ



今年は5店舗による和菓子、洋菓子、手工芸品、多肉植物などの販売が行われました。どの店舗も素敵な手作り作品に溢れ、商品を通じて出店者とお客様がコミュニケーションを楽しんでいる様子を見ることができました。延べ330名を超えるお客様にお越しいただきました。

フリーピアノ!



どなたでもピアノを演奏できるイベントを夏のオープンデーに引き続き開催！アップライトピアノの音色を気軽に楽しみいただきました。写真はピアニストの白川優希さんによるゲスト演奏。ホールとは違った目の前で演奏が楽しめる環境で存分に楽しみいただきました。

大人のための本の読み聞かせ
本を聴く空間



有名文学作品を俳優・有吉宣人さんが魂を込めて音読しました。照明機材もスタンバイして雰囲気も出ていたのではないのでしょうか。皆さん本の世界にどっぷり浸られていたようです。

フルイドアート体験ワークショップ



好きな色を混ぜるだけ！絵の具の流動性を利用した新感覚のアートのフルイドアート。様々な色を混ぜ、個性豊かな作品が出来上がっていました！

インドネシアの民族音楽 ガムラン体験ワークショップ



子どもから大人まで参加可能な、ガムラン奏者・櫻田素子さんとガムラン楽団 Terang Bulan によるガムラン体験ワークショップを行いました。普段なかなか触れる機会の少ないガムランに興味津々に見つめる参加者の方々。独特な音色とともに、楽しそうに楽器に触れる皆さんの笑顔が印象的でした。

見返戸塚人コーナー (パネル展)



さくらプラザが発行している情報誌 SAKURA の名物コーナー「見返戸塚人」。今までに取り上げさせていただいた方々を振り返るブースが登場。回転台を使って背中を回すと掲載記事が読めましたが、皆さん回してくれましたか!?

笑顔で楽しく 顔トレ (笑顔トレーニング)



22種類で構成されている顔の筋肉を縮めたり伸ばしたりする顔の体操を専門家の指導のもと行ないました。講座終了時には皆さん表情が豊かになり、素敵な笑顔で終了しました。

小田 直弥

★★★★★ Vol.6 ★★★★★

最高のエンタメである〈ミュージカル映画〉の世界

横浜市は世界の8つの地域と「姉妹・友好都市」の提携をしています。その最も古い提携先はアメリカのサンディエゴ市です。私たちの身近には、アメリカ発祥のものがたくさんあります。例えば携帯電話やYouTube、ハンバーガーやコーラ、野球やバスケットボール、ジーンズやTシャツもアメリカ発祥です。加えて、アメリカは音楽や文学といった文化芸術にもたくさんの魅力があります。そこで本連載を「アメリカの文化芸術をもっと楽しみ、ちょっと詳しくなっちゃおう！」と題し、音楽と教育を専門とする小田直弥さんと、アメリカ文学を専門とする土屋陽子さんの2名でお届けします。

『オズの魔法使い (The Wonderful Wizard of Oz)』をご存知でしょうか？ 少女ドロシーと愛犬トトが、突然の竜巻に見舞われてマンチキンの国にやってきてしまい、脳のないカカシ、心のないブリキ、勇気のないライオンと出会い、力を合わせて西の魔女を倒すことで、生まれ故郷のカンザスに戻る、という冒険物語です。この絵本は、アメリカ人児童文学作家ライマン・フランク・ボームと、アメリカ人イラストレーターウィリアム・ウォーレス・デンスロウとの共同で1900年に出版されました。1902年にミュージカル化、1939年にミュージカル映画化された後、1995年にアメリカ人小説家グレゴリー・マグワイアによって小説『ウィキッド 誰も知らない、もう一つのオズの物語』という、原作に新たな広がりをもたらすサイドストーリーが公開、2003年にミュージカル化、そして今年3月7日に新作ミュージカル映画『ウィキッド ふたりの魔女』の国内公開となりました。

昨年度の連載では、ディズニー映画、ハリウッド映画を扱いましたが、ミュージカル映画もまた、とても人気のある分野です。「トゥモロー」が代名詞となった『アニー』、スピルバーグが監督を務めた『ウェスト・サイド・ストーリー』などが、日本でも話題になったことは記憶に新しいですが、それぞれの作品を頭に思い浮かべると、アメリカの特徴とも言えるかもしれませんが、〈エンターテインメント性が群を抜いている〉ことを強く感じます。

ミュージカル映画におけるエンターテインメント性の高さは、華やかな映像に加えて、会話やユーモアなどの全体的なテンポの良さにあるように思いますが、音楽的にみると、物語の進行の上で、セリフで伝えたいメッセージと、歌で伝えたいメッセージが分かりやすく線引きされ、効果的に組み合わせられている点にも感じています。ミュージカル映画は、通常の映画とも、オペラ等の音楽とも異なります。『ドラえもん』や『踊る大捜査線』等の映画では、セリフを中心に物語が展開されていき、『フィガロの結婚』(W. A. モーツァルト)や『ラ・ボエーム』(G. プッチーニ)等のオペラでは、セリフ部分も含めて音

楽を中心に物語が展開されていきます。しかし、ミュージカル映画はこの両方の要素を持つことが特徴です。例えば映画版『オズの魔法使い』にて、ドロシーは、作品冒頭から、音楽を伴わない通常のセリフで物語を進行しているかと思うと、間もなく“Over the Rainbow”を歌い始めます。セリフが、物語のキーとなる情報を提示したり、次の展開に場面を進めたりする情報「量」であるとする、音楽は、歌だからこそ伝えられる登場人物の思いの「質」感を表現できます。十分な情報量を与えながら、しっかりと質も見せていくこの組み合わせは、お客さんを物語の世界へ惹き込む効果的な仕掛けとして機能しているように思います。

こうした書き方をしておきながらも、セリフと歌が線引きされている理由は、〈商業戦略〉でもあるように思います。これは、モーツァルトの時代でもそうでしたが、人気曲は単曲で楽譜が販売され、経済を回します。今日ではモーツァルトの時代よりも、1曲のもつ経済効果は大きいでしょう。そうした目で見ると、ほぼすべてのミュージカル映画に「代表曲」があることが分かると思いますし、ディズニー映画もそうですね。

絵本『オズの魔法使い』の初版が出版されてから、今年で125年となりました。この125年の間、いくつもの戦争があり、経済不安があり、流行り病があり、社会や価値観の様々な変化がありました。『オズの魔法使い』はいまだ賞味期限を迎えることなく、今日の私たちにも共感できるメッセージを持っていると思います。アメリカの文化芸術をもっと楽しむ入口として、もしよろしければチェックしてみてください。



小田 直弥

弘前大学教育学部ピアノ研究室助教。東京学芸大子ども未来研究所学術フェロー。歌曲ピアニストとしてはイタリア、ドイツ、フランス、日本の歌曲に加え、アメリカ、イギリスの歌曲の演奏にも力を入れている。研究活動は、演奏家のためのマタニティコンサート研究(科研基盤 C:25K03770)、ヤマハ株式会社との共同研究等、教育活動は合唱団よびごえ(2016~)、MUZA ミュージック・カレッジ 2023、2024への登壇等がある。



第7回 鈴木 智香子さん

NPO 法人 街カフェ大倉山ミエル 〒222-0037 横浜市港北区大倉山4丁目36-26 CAFE 営業時間 月曜日～金曜日 10:00から15:00 土日祝日もイベントなどで不定期開催 ※ご提供時間 (イベント開催時などは変更となる場合があります) 詳細はHPをご覧ください https://cafemiel.jimdofree.com



このコラムでは横浜市18区で地域の課題解決のために、コーディネーターとして「地域と人と組織」をつなぐ橋渡し役をしている方たちにインタビューを行います。

一大倉山ミエルについて教えてください。

大倉山商店街で2010年から始まった養蜂事業「大倉山はちみつプロジェクト」のアンテナショップとして誕生しました。その後、移転し2018年9月から旧一軒家貸し画廊「ぎゃるりーげん」の場所で新たに活動を続けています。活動内容としては多世代が気軽に集まれる「街カフェ」を営業しており、私たちの思いでもある「自由な居場所」を通して色々なイベントや活動を創造して地域社会が抱える課題に対して全方位型でアプローチをしています。活動内容が本当に幅広いので、ぜひHPをご覧ください。



一地域連携コーディネーターはどのような活動をしているのでしょうか？

コーディネーターは、単にイベントを企画・運営するだけではなく、地域住民自身が主体的に参加できる仕組みを作ることが重要です。住民が「巻き込まれる」のではなく、Win-Winの関係が大切で、双方が利益を得られる提案をできると良いと考えています。



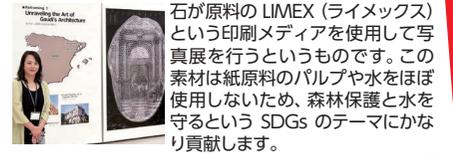
地域が抱える課題に対して得意なこと、やりたいことがある方を見つけ、その「得意なこと」「やりたいこと」を引き出して「形」にするお手伝いをする役割だと思います。自然に参加できる環境を整える必要があるのではないのでしょうか。また、様々な活動を継続可能にするためには、コーディネーター自体の育成と支援が欠かせません。「育成」を事業として取り組んでいく必要があると考えています。

一文化施設と地域連携についてお考えをお聞かせください。

文化施設は、地域連携のプラットフォームとして大きな可能性を秘めているのではないのでしょうか。アウトリーチ活動も重要ですが、例えば「文化・芸術」の専門家としての機能を活用し、コーディネーターが地域の多様な団体とつながる機会を提供し、演奏家や美術団体が単独で活動するのではなく、地域の子どもや高齢者と共同でワークショップを開催するなどの取り組みが考えられます。またコーディネーターの育成には、実践的な学びの場が必要です。文化施設で地域連携の基礎知識や実際のケーススタディを学ぶ研修会を定期的に開催することで、新しい担い手を育てることもできるのではないのでしょうか。文化芸術の持つ力を活用しながら、地域全体が協力し合える仕組みを築いたら素敵ですね。楽しみにしています。

人は皆 背中語る... ミカエリツカジン 見返戸塚人 戸塚の魅力あふれる方々をご紹介します。

一般社団法人 SDGs写真アート協会 須賀 由美子さん 《写真アートにもSDGsを！》



石が原料のLIMEX(ライメックス)という印刷メディアを使用して写真展を行うというものです。この素材は紙原料のパルプや水をほぼ使用しないため、森林保護と水を守るというSDGsのテーマにかなり貢献します。これを実現するためには、LIMEX出力に必要な専用プリンターと、このSDGsな作品づくりの考えに共感していただける皆様と輪を広げていく活動の場が必要と考えSDGs写真アート協会を設立しました。またプリンター出力の際には額フレームやマット・説明なども一緒にデザインすることが可能になるため、表現の幅が広がるというメリットもあります。これによりローコストで写真展示をする機会が得られるのもメリットの一つです。私共は「もっと自由な発想で」とSDGsで」というスローガンで作品づくりに取り組む活動をしています。



一戸塚人に逢いに行こう! 一般社団法人 SDGs写真アート協会 ※SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称 神奈川県横浜市戸塚区矢野町1205番地 HP: https://sdgs-photoart.or.jp/ E-mail: info@sdgs-photoart.or.jp ※お問合せはメールにて

一活動する上でのこだわりを教えてください。 一番のこだわりはSDGsに貢献するLIMEXメディアを使用し写真展を開催することです。額フレームやマットなどもデザインして印刷することができるため、表現力の幅が広がることとなります。額やマットの準備もする必要がなくなることから、学生さんなどでも気軽に写真展に参加することができます。

一今後の夢や目標を教えてください。 昨年末より「二十四節気シリーズ」という季節の節目を表す節気の魅力や行事、その時々旬なものなどを表現する写真展を行っています。このようなテーマの写真展を日本各地で開催するのが当面の目標です。

一読者の皆さまに一言お願いします。 SDGsに貢献しながら自由な発想で写真アート作品づくりをしてみたい方はお気軽にご連絡ください。



次号の戸塚人は...? この後ろ姿から何処のどなただろうと想像してみてください。次号では見返ポーズでお顔を公開します!

さくらプラザコンサートスケジュール

チケットはお電話(045-866-2501)でご予約いただけます。(一部除外あり)
 詳細は各公演チラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 ※学生券は公演当日に学生証を必ずご持参ください。※チケット料金は総額表示です。

主催

らららん♪ドレミシリーズ Vol.28 お話と音楽とバレエでたのしむ
サン＝サーンス「動物の謝肉祭」
 ～知ると2倍おもしろい!?
 曲目解説とバレエのマ임レクチャー付き～

全席指定
 大人(中学生以上) 1,000円
 子ども(0歳から小学生) 500円
 親子ペア(大人1枚+子ども1枚) 1,200円 ※0～2歳席上鑑賞無料

5/17(土) 11:00開演 休憩あり

会場 ホール

鈴木 啓資 (ピアノ) 鈴木 佳由 (ナレーター) 大山 理紗 (バレエ振付・監修)

共催 下記共催公演のチケットはさくらプラザでは窓口のみ取扱

コンセール・アミティエ
第63回 音楽サロン plus ～皆さんとご一緒に～

全席自由
 各回前売り券 1,000円
 当日券 1,500円

5/27(火)
 ①10:45開演 ②14:15開演

会場 リハーサル室

高橋 みどり (フルート) 横山 ち帆 (ピアノ) 吉府 充希子 (ソプラノ)

名曲サロン シリーズ Vol.42
上田 由梨乃 フルートコンサート
 ～心に響くフルートの美しき調べ～

全席自由 各回一般 1,000円

6/4(水)
 ①11:30開演 ②14:30開演

会場 リハーサル室

上田 由梨乃 (フルート) 黒澤 優芽 (ピアノ)

東日本大震災支援イベント
6月のBIG BAND PARTY
 ～横浜発のジャズは戦後復興の活力となった。70年後、またジャズの番がやってきた。～

全席自由 前売券 2,000円/当日券 2,500円

出演: 横浜市立港中学校吹奏楽部 Marching Jazz Band
 中央大学 Swing Crystal Orchestra
 かなっくジャズオーケストラ
 昭和音楽大学 Lily Jazz Orchestra
 Port Nine Jazz Orchestra
 横浜音楽倶楽部

特別ゲスト: 熊谷 駿 (Sax) ※出演順ではありません
 主催: 一般社団法人 横浜JAZZ協会、復興支援音楽の会

6/1(日) 14:00開演

会場 ホール

前橋 汀子 珠玉の名曲集 2025 in 戸塚

全席指定
 一般 3,700円
 横浜市民 3,500円
 EX(補助券・早割別席) 2,000円
 学 生 1,500円

6/7(土) 14:00開演 休憩あり

会場 ホール

前橋 汀子 (ヴァイオリン) 松本 和将 (ピアノ)

コンセール・アミティエ
音もだちコンサートVol.4
 ●音楽といっしょに水族館へ行こう! ●
 ～クラシック音楽と童謡でリトミック♪～

全席自由
 各回前売り券 500円
 当日券 800円
 ※0歳から有料

6/26(木) ①10:30開演 ②11:45開演

会場 リハーサル室

阿世知 路子 (リトミック&ナビゲーター) 北村 真紀子 (ピアノ) 吉府 充希子 (企画)

さくらプラザ オープンデー 2025
真夏のこども探検隊 7/19(土) 開催決定
 詳細は6月初旬頃公開予定

毎年夏休みに開催しているさくらプラザの子ども向けイベント「さくらプラザオープンデー」が今年も開催されます。皆様のご来場をお待ちしております!(一部有料予定)

第13回 区民企画事業
2025年度「さくらチャレンジプロジェクト」参加団体募集
 最大5団体 募集締切:5月7日 水曜日 必着

さくらチャレンジプロジェクトとは?
 2013年の開館以来、毎年「さくらプラザ区民企画事業」として開催してきた、戸塚区内で文化芸術活動を営む個人・グループの創造活動推進を目指す公募プログラムです。
 みなさまからの、施設の空間を活かしたアイデアをお待ちしております!

対象期間
 ギャラリー 2026年1月14日(水)から19日(月) ※ギャラリーについては、水曜～月曜の6日間でお申込みください。
 ホール 2026年2月6日(金)、7日(土)、8日(日)
 リハーサル室 練習室4 2026年1月23日(金)、24日(土)、25日(日)
 2026年3月20日(金)、21日(土)、22日(日)

春風亭小朝独演会

全席指定 3,800円

チケット発売開始
 6/16(月)9:30～ リハーサル室

主催: 有限会社 春々堂
 8/16(土) 13:30開演

会場 ホール

春風亭小朝

SAKURA さくら
 Vol.72
5・6月号
 2025.5.1発行

編集後記
 ここ最近、時の流れの速さに驚きます。きっと皆様も新しい生活がスタートし、生活の環境が変わったという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。
 さくらプラザではお子様から大人の方が楽しめるイベントまでご用意しております。ぜひ気分転換も兼ねてお気軽にお立ち寄りください。(近藤)

TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502
 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F
 event@totsuka.hall-info.jp
 https://totsuka.hall-info.jp

さくらプラザ 検索 ※通信料が発生します。

戸塚区民文化センター さくらプラザ